

2024年3月24日 (No52)

主日礼拝

(受難節第7主日・復活主日イースター礼拝)

司会；和田智子 奏楽 松村宣恵

前奏 讃美歌 85 (2回) 一同

祈り 聖書 〈マタイ福音書28章1～10節〉 (新約聖書59頁) 司会者

讃美歌 327 一同
説教 「おはよう」

聖餐式 司式 山本光一

讃美歌 425 一同

献金と感謝の祈り 一同

主の祈り 62 一同

頌栄 キリストの平和が (1・5) 一同

黙祷 一同

報告

新しく来られた方・久しぶりの方の紹介

【本日の集会】

◇ 主日礼拝 14時 於 礼拝堂

【今週の集会】

◇ 一緒に聖書を読み祈る会
3月27日(水) 19時 於 礼拝堂
〈マルコ福音書3章31～35節〉 (新約聖書66頁)
讃美歌 495 303

【次週の予定】

◇ 主日礼拝 (分かち合い礼拝)
3月31日(日) 14時 於 礼拝堂
聖書 〈マタイ福音書28章1～10節〉
* 聖書の箇所感想と一週間の感想のわかちあ
いをお願いします
讃美歌 327 425

◇ 一緒に聖書を読み祈る会

4月5日(水) 19時 於 礼拝堂
〈マルコ福音書4章1～20節〉 (新約聖書66頁)
讃美歌 300 461

《3・4月の礼拝》

【受難節】 2月11日～3月30日

3月24日 牧師説教 山本光一

3月31日 分かち合い礼拝

4月7日 牧師説教 大槻茂勝

4月14日 牧師説教 大槻茂勝

【来週の礼拝司会者を決めましょう】

- ① 和田智子 ②広瀬秀幸 ③吉田公子 ④伊藤知之 ⑤山根耕平 ⑥岸澤恵美 ⑦高崎 晋 ⑧山本 潔 ⑨早坂 潔 ⑩荻野 仁

【お知らせ】

◇ 大槻茂勝牧師
先週22日に浦河に着かれました。4月1日から浦河教会と元浦河教会の牧師として働き下さいます。神様の守りが豊かにありますように。
◇ 今日は、聖餐式を行います。神様はクリスチャンに限らず全ての人を愛され救われています。イエスをキリスト(救い主)と信じる方はどなたでもパンとぶどう酒を頂いて下さい。

【集会統計】

集会名	出席者	献金
主日礼拝 (3月17日)	19名	6,797円
祈祷会 (3月20日)	お休み	

◇ 能登半島地震救援募金
3月17日 1,668円 累計 9,293円

頌栄 キリストの平和が

1. キリストのへいわが わたしたちのころのすみずみにまで 行きわたりますように
5. キリストのゆるしが わたしたちのころのすみずみにまで 行きわたりますように

「おはよう」
〈マタイ福音書28章1～10節〉

教会歴では今日から受難週が始まりますが、浦河教会は今日イースター礼拝を守ります。

イエスが十字架につけられ葬られてから3日目。日曜日の朝にマグダラのマリアともう一人のマリアがイエスの墓に行くと、お墓は空でした。今日の箇所では、天使が墓の入口の石をどかして空の墓を見せ「あの方はここには居られない。かねて言われていたように復活なさったのだ」とマリアたちに伝えます。

このことを使徒信条では、こう表現されています。「(イエスは)十字架につけられ、死にて葬られ、黄泉に下り、三日目に死人のうちよりよみがえり」。使徒信条が言いたいことは、イエスはわたしたちの死の苦しみにもつきあってくれるのだということです。

死人のよみがえりは、科学的には証明することはできません。しかし、「実際に起こったことではないのに、福音書にはなぜこう書いてあるのか」と考えることは有意義です。そこには福音書記者の信仰が表現されているからです。福音書はわたしたちに何を伝えたいのでしょうか。

また、「事実とは思えないのでイエスの復活のことは無視する」というのであれば、わたしたちは、信仰の根本的内容を手放してしまうことになります。

死人のよみがえりを最初に信じた人たちについて、わたしたちは福音書に読むことができます。おそらくは女性たちが、まず最初にイエスのよみがえりを信じ、それを弟子たちに伝えたのだと思います。「よみがえり」「復活」と日本語に訳されている言葉はアナスタシスという言葉です。これは「立ち直る」という意味の言葉です。この言葉は放蕩息子の物語のお父さんの言葉にもあります。(ルカ 15:32)

そうです。弟子たちは立ち直ったのです。イエスの逮捕後、散り散りになって身を隠し「イエスのことなど知らない」と言ったイエスの弟子たちが「イエスはわたしたちの救い主・キリストである」と伝道しはじめ、教会を作ったのです。

それは、イエスのマリア達への言葉、「おはよう」から、つまり、神様からのわたしたちへの呼びかけから始まっています。弟子たちはその呼びかけに応えたのです。イエスのよみがえりはそれを信じて歩み続ける人たちがいるかぎり、事実として証明され続けられるでしょう。

日本キリスト教団 浦河教会

週 報

No. 52 2024 年 3 月 24 日



〒057-0022 北海道浦河郡浦河町昌平町東通 32

電話 (FAX) 0146-22-2904

牧師代務者 山本光一

電話 090-8274-7853